

研修体制における役割は、下記に示す。

① 新人看護師

看護師免許取得後、初めて看護師として就労する看護師のことである。自立して個人の到達度や今後の目標を定め、主体的に研修に参加することが期待される。

② 実地指導者

新人看護師に対して、臨床実践に関する実地指導、評価等を行う者である。看護師として必要な基本的知識、技術、態度を有し、看護を的確かつ自律的に実施できる能力があり、知識、技術の指導のみならず、情緒的に安定した教育的指導ができる者であることが望ましい。

【配置例】

部署や就職後の時期によって以下を組み合わせる。

- 1) 新人看護師に対し継続的に指導を行う一人の指導者を配置する。
- 2) 各新人看護師に対し複数の看護職員を指導者として配置する。
- 3) チームナーシングにおけるチームの看護職員全体の中で日々の指導者を配置する。

③ 教育担当者

教育担当者は、看護部門の新人看護師の教育方針に基づき、各部署で実施される研修の企画、運営を中心となって行う者であり、実地指導者への助言及び指導、また新人看護師へ指導、評価を行う者である。看護師の模範となる看護実践力をもち、チームリーダーとしての調整能力を有し、教育的役割を発揮できる者が望まれる。

【配置例】

教育担当者の配置は各部署に1名以上とする。

④ 研修責任者

新人研修プログラムの策定、企画及び運営に対する指導及び助言を行う者である。研修責任者は、施設および看護部門の教育理念に基づき、所属施設の新人看護師研修の企画・運営・実施・評価の全ての過程においての責任者である。また、各部署の管理者や教育担当者と連携を図りつつ、教育担当者の支援を行い、部署間の調整も含め新人看護師研修全体を把握する。

研修責任者は、他者にモデルを示すことができる高度な看護活動はもとより、組織的な教育・研究活動を主体的に実践できる者であることが望まれる。研修計画、研修プログラムの策定において、様々な意見や課題を集約し、研修の結果を評価する能力や、研修の運営における問題解決及び自施設の状況に合わせた新たな研修計画を策定していく能力が求められる。

【配置例】

研修の質を保障するため出来る限り専任とすることが望ましい。

⑤ プログラム企画・運営組織（委員会等）

新人看護師の準備状況を尊重し、新人研修プログラムの策定、企画及び運営を行うための委員会などの組織であり、研修責任者の元に設置する。ここでは、施設間や職種間の連携・調整を行い、最適な研修方法や研修内容について具体的に検討を行う。

3) 研修実施体制の工夫

○新人看護師研修を施設の特性にあった方法で研修を実施するために、各施設に適した方法を選択したり、組み合わせたりして実現可能な研修を工夫する。

①研修体制の工夫

○ローテーション研修に代表される複数領域の看護実践は、一つの部署では得ることの出来ない幅広い看護実践能力を獲得するために有効であるといわれている。

○多職種と合同研修会を実施することでチーム医療におけるパートナーシップの育成がすすむ。

○基礎教育とのつながりを重視し、基礎教育を行っている看護教員を研修の講師にする

○教育機関、学会、医薬品・医療機器業者、専門職能団体等で行われているプログラムを活用し、最新の専門的な知識・技術を得る

○講義形式のものに関しては、通信教育やe-ラーニング研修も有効である

○技術訓練のモデルや、自施設の技術ビデオなど、新人が実習できる設備を整える。

○看護師研修の経験が豊かなアドバイザーを招いて研修体制や計画策定の支援を受けることも有用である。

②新人看護師を支える組織体制の工夫

【 未定稿 】

プリセプターシップ、チューターシップ、補助アサインメント、メンターシップ、エルダー制などの方法がある(表1)。新人看護師の離職に対処するためには意図的な精神的支援のしくみが必要であるとされている。

この部分は
例えばプリセプターシップが有効なのは、どういう場合なのかなどの適応例を示せるように作成し直す予定

| 名称 | 定義 | 備考 |
|------------------------------------|---|---|
| プリセプターシップ Preceptor ship | 新人 1 人に対して決められた経験のある先輩看護師がマンツーマン(同じ勤務をいっしょに行う)で、ある一定期間オリエンテーションを担当する方法。 | わが国では多くの施設でこの方法が用いられていると報告されているが、勤務をいっしょにしているところは少なく、決められた相談相手をプリセプターとしているところが多い。本来ならチューターシップに近い。日常的な勤務においては、先輩ナースといっしょに患者を受け持つ、補助アサインメントがとられている。この方法の理念は、self-paced(新人のペースにあわせて)、self-directed(新人自らが主体にかかわる)ことである。 |
| チューターシップ (チューター制度) Tutorship | 決まった相談相手がいるが相談や支援を求めていくことができるが、一緒に勤務でケアをするわけではない。 | 決められた相談相手がいることは新人にとって心強いとの評価であるが、この方法だけでは日々の業務における実践的指導ができない。補助アサインメントと組み合わせることが多い。 |